

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和2年度)

施設の名称	アイエス総合ポートランド(宮城県長沼ポート場)
指定管理者の名称	宮城県ボート協会
施設所管部課(室)	企画部スポーツ振興課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成18年 4月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	宮城県ボート協会	
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	宮城県ボート協会	
平成24年 4月 ~ 平成27年 3月	指定管理者	宮城県ボート協会	
平成27年 4月 ~ 令和2年 3月	指定管理者	宮城県ボート協会	
令和2年4月 ~ 令和7年 3月	指定管理者	宮城県ボート協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	宮城県ボート協会
	所在地	宮城県石巻市田道町一丁目6-18
指 定 期 間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	アイエス総合ポートランド(宮城県長沼ポート場)	
所在地	宮城県登米市迫町北方字天形114-2	
設置年月	平成元年10月	
根拠条例等	総合運動場条例	
設置目的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため。	
施設の内容	敷地面積	2,202.02 m <sup>2</sup>
	構造	鉄骨造平屋建
	内容	①艇庫, トレーニング室, 会議室, 更衣室 ②コース 延長2,000m 8レーン(日本ボート協会公認A級コース) ③判定塔, 鉄筋コンクリート造3階建
開館(所)日	休館日 {月曜日(10月1日~3月31日までは月・火)} を除く毎日	
開館(所)時間	会議室及びトレーニング室 4月1日~9月30日 午前6時~午後8時 10月1日~3月31日 午前10時~午後5時 会議室及びトレーニング室を除く全施設 4月1日~9月30日 午前6時~午後6時 10月1日~3月31日 午前10時~午後5時	
指定管理者が行う業務の範囲	1 施設全体の管理運営業務 2 施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の収受に関する業務 3 施設の使用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 施設の機械設備の操作・日常点検業務 5 施設・設備, 物品及び敷地の維持管理業務 6 その他施設の管理運営業務に関して宮城県が必要と認める業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	施設利用料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
開館(所)日数	287 日	309 日	287 日	100.0%	92.9%
延べ利用者数	4,630 人	8,113 人	4,523 人	97.7%	55.8%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
トレーニング室	700 人	1,128 人	491 人	70.1%	43.5%
ボート	1,000 人	1,821 人	691 人	69.1%	37.9%
判定塔	100 人	306 人	68 人	68.0%	22.2%
ボートコース	2,500 人	4,214 人	3,191 人	127.6%	75.7%
審判艇	100 人	201 人	70 人	70.0%	34.8%
会議室	200 人	403 人	12 人	6.0%	3.0%
シャワー室	30 人	40 人	0 人	0.0%	0.0%
合 計	4,630 人	8,113 人	4,523 人	97.7%	55.8%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
県指定管理料	12,564	11,797	12,564	100.0%	106.5%
利用料金収入	900	989	292	32.4%	29.5%
その他(自主事業・借入金を含む)	358	1,762	602	168.2%	34.2%
収入計 (a)	13,822	14,548	13,458	97.4%	92.5%

(2) 支出

人件費	3,000	3,023	2,960	98.7%	97.9%
施設管理費	8,510	8,433	8,398	98.7%	99.6%
事業運営費	2,312	2,784	1,801	77.9%	64.7%
その他	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	13,822	14,240	13,159	95.2%	92.4%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	308	299	#DIV/0!	97.1%
前期繰越収支差額	308	182	308	100.0%	169.2%
次期繰越収支差額	0	308	299	#DIV/0!	97.1%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 (単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
事業費	50	62	6	12.0%	9.7%
参加料収入	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
				#DIV/0!	#DIV/0!
収入計 (a)	50	62	6	12.0%	9.7%

(2) 支出

人件費	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
施設管理費	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
事業運営費	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
その他	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	50	62	6	12.0%	9.7%
前期繰越収支差額	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額	0	62	62	#DIV/0!	100.0%

6. 評価対象年度(令和2年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
	評価	評価	評価	評価	評価	評価	
①管理運営体制	運営組織に則り、業務する体制が確立されている。令和2年度は、年初より利用収入減が予想され、人件費削減のため協会のサポート増で運営をフォローした。		必要に応じて協会がサポートする体制で、各大会も支障なく開催された。新型コロナ禍で2大会だけでしたが、トラブルなく完了することが出来た。		A	各種大会が計画どおり開催されており、管理運営も適切である。	A
人員体制	正規 1人	非正規 1人					
②施設・設備の維持管理業務の実施	機械警備及び消防施設点検時データ処理システム保守、浄化槽点検、ゴミ収集、電機保安、コース設置・撤去を実施。他コース施設、判定塔施設、棧橋、艇庫の修繕を実施。		点検時の立ち会い引き渡し確認、レース時の業者立ち会い等で施設管理維持に努めた。		A	外部委託のほか、施設・設備の自主点検を行った。また、経費節減に努め、必要な修繕・備品購入等についても適切に実施している。	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	令和2年度は、新型コロナウイルス禍で全国規模の大会はなかった。県内関係大会開催運営にあたっては、必要に応じて協会がサポートした。		各大会、支障なく実施され、無事終了した。		A	大会開催時には、大会運営や施設管理について協会がボランティアとして補佐し、施設利用者のサービス充実にも努めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、県内大会のみの実施となったが、支障なく実施されている。	A
④自主事業の実施	昨年度に引き続き、協会保有の移動機橋・テント・無線機の有料貸出事業を実施。		今年度の大会数の減少により収入は、6,000円の実績であった。		A	指定管理者が競技に精通していることから、常に施設利用者に対して技術的指導・助言を行っている。平成30年度より、備品貸出事業を開始し、施設整備資金の確保に向けた取り組みを行っている。	A
⑤利用者サービスの向上	利便性の向上を図るため、休館日でも、練習会や合宿等での利用希望に配慮して開館している。また、新型コロナウイルス対策についても徹底した。		シニア層利用者のニーズを把握してサービス向上に努力している。登米市の施設との連携も図っている。毎月、関係3者会議を行って、情報の共有を図っている。		A	休館日であっても、利用要望を考慮し、開館するなど、利用者ニーズに応じて柔軟に対応している。	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	アンケート調査箱を設置して要望の収集に努めているが、令和2年度回収は0であった。また、協会の理事会等で常に施設運営の意見等の把握に努めている。		アンケート内容を改正し、利用者や大会参加者に積極的に働きかけたい。		A	施設内にアンケート調査箱を設置し、苦情・要望等の把握に努めているが、回収件数は少ない。アンケート内容を改正するなど、利用者の意見をより多く取りいれようとする工夫も見られるため、引き続き、利用者への積極的な働きかけに期待したい。	A
⑦安全対策	中学・高校の監督責任者との密接な連絡、指導を実施している。場内放送を利用し、突風強風による注意を伝達している。また、県・市・警察・消防・漁協との連携を密にしている。日本ボート協会主催のセーフティアドバイザー講習に会員が積極的に参加し、他の会員への指導を行っている。		ボート場内水面の安全管理については、場内定刻巡回を実施している。救助艇・審判艇・作業艇にはライフジャケット着用を義務付けている。		A	コース利用中における沼水面の巡回、救助艇の待機など、安全性を確保するとともに、気象条件にも注意し、関係機関との連携を密にしながら事故防止に努めている。	A
⑧県民の平等利用	消防署、長沼花火大会、長沼フードマラソン、ゲートボール、グランドゴルフや長沼レガッタの開催等、ボート場内外は幅広く県民に利用されている。令和2年度は中止となった行事が大半であった。		平等利用を一層推進すると共に、ボート場内は、一部の立ち入りをボート競技者・関係者以外禁止にしている。特に、マナーの悪い釣り人もいることから、場内は漁協と連携して全面禁止としている。		A	ボート大会のほか、地元イベントにも積極的に協力し、地域に親しまれる施設運営に努めている。また、全国規模の大会を継続的に開催するなど、幅広い利用者の増加に努めている。	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	個人情報保護規定により適切に管理している。	宮城県個人情報保護条例に基づき、厳重に管理している。	A	個人情報保護規定を整備し、個人情報保護に努めている。	A
⑩利用実績	平成27年度より各利用施設毎の利用延人員として、報告することに変更している。	周辺施設環境の整備により利用者が増加傾向にある。しかし、令和2年度は、新型コロナ禍で利用収入は激減した。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、結果的には実績が減少となったが、コロナ影響による要因を除けば概ね計画どおりの利用数が見込まれた。引き続き、練習会や合宿利用を呼びかけるほか、全国規模の大会の誘致など、利用促進に努められたい。	A
⑪収支実績	令和2年度 収入 13,458,530円 支出 13,159,174円 残額 299,356円	利用料収入目標 900,000円 実績 291,825円 (対前年収入比 -697,758円)	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、結果的には実績が減少となったが、コロナ影響による要因を除けば概ね計画どおりの利用料金収入が見込まれた。隣接する登米市のクラブハウスとの連携を図りながら合宿利用等の呼びかけをする等、安定した利用料金収入の確保に努められたい。	A
⑫その他の取組	艇を始めとする設備に老朽化が進んでいる。シーズンオフに艇をはじめ、各施設・備品のチェックを入念に行っている。	第2艇庫が完成し、艇の収納能力が増した。	A	施設・備品の日常点検の実施による、施設の安全管理のほか、設備の更新を行うなど、利用者の利便性向上に向けた取組を行った。	A
総合評価		利用料収入が落ち込む中、施設の修繕や運営を工夫して実行した。	A	限られた予算の中、必要な修繕を計画的に実施した。今後の施設運営に当たっては、引き続き、合宿利用や大会誘致等を行い、利用促進や競技力向上への活動に期待したい。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	新艇庫が完成したことにより、宿泊施設も完備している登米市長沼ポート場クラブハウスと連携して、利用者の利便性を高め利用を働きかける。また、利用者増加に伴う安全確保とコンプライアンス強化に努める。	当施設の円滑な運営には、関係機関(県土木事務所、登米市、漁業協同組合等)との連携が不可欠であることから、今後も連携体制を強化し、利用者の利便性向上を図っていく必要がある。